

消化器外科専門医共通項目


項目名	選択肢 (○: 択一, □: 複数選択, []: 入力)
必須基本情報	
院内管理コード (診療録ID)	自由記載
患者生年月日	日付 [yyyy/mm/dd]
患者姓・名 (イニシャル)	(姓) . (名)
性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
国籍	<input type="radio"/> 日本人 <input type="radio"/> その他 []
入院日	日付 [yyyy/mm/dd]
救急搬送	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
患者搬送元の郵便番号	7桁の数値 [xxx-xxxx] or 不明
入院時診断	リストにあるICD-10から選択
手術日	日付 [yyyy/mm/dd]
術式	リストにある術式から選択 (術式選択後, 下記から該当するものをチェック) <input type="checkbox"/> 内視鏡手術 <input type="checkbox"/> 外傷手術 (また, 肝切除術式が選ばれた段階で複数選択可として表示する.) 肝切除部位 <input type="checkbox"/> S1 <input type="checkbox"/> S2 <input type="checkbox"/> S3 <input type="checkbox"/> S4 <input type="checkbox"/> S5 <input type="checkbox"/> S6 <input type="checkbox"/> S7 <input type="checkbox"/> S8 <input type="checkbox"/> S4a+S5 <input type="checkbox"/> 肝床切除
術者	登録したリストから選択 (医籍番号, 氏名が表示される)
助手	登録したリストから選択 (医籍番号, 氏名が表示される)
同時に行われた手術術式	手術コード
緊急手術	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
麻酔科医の関与	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
麻酔種別	<input type="checkbox"/> 全身麻酔 <input type="checkbox"/> 腰椎麻酔 <input type="checkbox"/> 硬膜外麻酔 <input type="checkbox"/> 局所麻酔 <input type="checkbox"/> その他 []
米国麻酔科学会全身状態分類 (ASA-PS分類)	<input type="radio"/> ASA1 <input type="radio"/> ASA2 <input type="radio"/> ASA3 <input type="radio"/> ASA4 <input type="radio"/> ASA5
手術情報	
手術時間	[] 時間 [] 分
術中出血量	[] ml
術中MAP輸血量	[] 単位
悪性腫瘍の有無	<input type="radio"/> 腫瘍なし <input type="radio"/> 良性腫瘍 <input type="radio"/> 悪性腫瘍
悪性腫瘍の部位	<input type="checkbox"/> 食道 <input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 小腸 <input type="checkbox"/> 虫垂 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肛門管 <input type="checkbox"/> GIST <input type="checkbox"/> 消化管カルチノイド <input type="checkbox"/> 肝 (肝細胞癌) <input type="checkbox"/> 肝 (肝内胆管癌) <input type="checkbox"/> 肝外胆管-肝門部 <input type="checkbox"/> 肝外胆管-遠位側 <input type="checkbox"/> 胆嚢 <input type="checkbox"/> 膵臓 <input type="checkbox"/> 膵頭
TNM分類	<input type="radio"/> T0 <input type="radio"/> Tis <input type="radio"/> T1 <input type="radio"/> T2 <input type="radio"/> T3 <input type="radio"/> T4 <input type="radio"/> Tx <input type="radio"/> N0 <input type="radio"/> N1 <input type="radio"/> N2 <input type="radio"/> N3 <input type="radio"/> Nx <input type="radio"/> M0 <input type="radio"/> M1
腫瘍ステージ	()
癌の遺残	<input type="radio"/> OR0 <input type="radio"/> OR1 <input type="radio"/> OR2 <input type="radio"/> ORx
術後経過	
術後診断 (入院時診断と異なると)	ICD-10から選択 (退院時診断が入院時と異なる場合のみ入力する)
術後30日以内の再手術	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
最重症ケアユニットからの退出口	日付 [yyyy/mm/dd]
退院日	日付 [yyyy/mm/dd]
退院時転帰	<input type="radio"/> 生存 <input type="radio"/> 死亡
術後30日以内の再入院	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
術後30日状態	<input type="radio"/> 生存 <input type="radio"/> 死亡
術後発生事象 (術後30日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり

一般社団法人 National Clinical Database (NCD)の外科手術・治療情報データベース事業


平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

本事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです【資料 1 参照】。全国の医療施設診療科の皆様からご協力をいただくことで、手術を行っている施設診療科の特徴、医療水準の評価、適正な外科専門医の配置、手術を受けた方の予後、これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性、などを明らかにすることができます。また、今後は、本事業に登録していただいた症例のみを用いて、各専門医制度の申請が行われるようになる予定です。

 ● 登録対象のデータ

2011 年 1 月 1 日以降、各施設診療科で行われた手術と治療に関する情報全て【資料 2 参照】。

 ● データの登録方法

データの登録はウェブサイトを通じて行われます【資料 3 参照】。施設診療科ごとに選ばれ、NCD による認証を受けた方（NCD アクセスメンバー）に登録を担当していただきます。登録を行うためには、NCD アクセスメンバーごとに ID とパスワードを取得する必要があります【資料 4 参照】。

 ● データの取り扱いに関する倫理的配慮

本事業のデータベースには、患者さん個別に付された ID を用いて入力していただきます。したがって、患者さんの氏名を入力していただく必要はありません。ただし、担当者が各施設に伺ってデータの整合性を検証することがあるため、ID と患者さんの氏名を記した対応表を残していただきます。収集されたデータは利用規約等を定めて厳重に管理いたします【資料 5 参照】。

本事業の趣旨と内容を御理解の上、ご協力を賜れますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。本事業につきましてご不明の点等がございましたら、下記までご連絡ください。



一般社団法人 National Clinical Database

URL : <http://www.ncd.or.jp/>

(お問い合わせはホームページ内のフォームからお願いいたします)

本事業の目的と概要

平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

本事業の目的と概要

本事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、治療成績の改善を目指すプロジェクトです。本事業に登録したデータを分析することで以下のことを明らかにすることができます。

- 手術を行っている施設診療科の特徴
- 医療水準の評価
- 適正な専門医の配置
- 手術を受けた方の予後
- これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性、など

これにより、各診療科は自診療科の特徴や課題をより明確にすることができます。そして、診療科、施設単位だけでなく、地域レベル、全国レベルで医療の水準を明らかにして、地域単位、国単位で比較することもできるようになります。また、術前のリスクをより正確に評価できるようになり、その情報を用いて患者さんやその家族と手術・治療の方針を検討することができるようになります。さらに、全国の皆様に手術・治療を提供できるようにするため、よりよい専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなります。加えて、さまざまな臨床研究・介入研究と連携して運営することで、データ登録を一元化し、データ入力にともなう負担を軽減することも期待できます。

これまでの経緯

2010年4月に一般社団法人として登記を申請した後、NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議、理事会を開催して準備を進めてきました。

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 2010年4月8日 | 一般社団法人として登記申請 |
| 2010年4月19日 | 第1回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年5月17日 | 第2回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年6月21日 | 第3回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |
| 2010年6月28日 | 電磁的記録による理事会決議：基金の承認、定款施行細則の承認 |
| 2010年7月28日 | 第1回NCD理事会開催 |
| 2010年8月9日 | 第4回NCD運営委員会・専門医制度委員会合同会議：進捗報告と検討事項の確認 |

運営形態

手術・治療に関する情報の登録は、本事業に参加する施設の診療科でおこなっていただきます。登録されたデータは一般社団法人 National Clinical Database (以下、NCD) 【図 1-1 参照】がとりまとめます。NCD は下記の学会・専門医制度と連携しており、今後さらに拡大していく予定です。

- 外科専門医 (日本外科学会) 以下50音順
- 呼吸器外科専門医 (日本胸部外科学会, 日本呼吸器外科学会)
- 消化器外科専門医 (消化器外科領域については、以下の学会が「消化器外科データベース関連学会協議会」を組織して、NCDと連携する：日本消化器外科学会, 日本肝胆膵外科学会, 日本食道学会, 日本胃癌学会, 大腸癌研究会, 日本肝癌研究会, 日本膵臓学会, 日本内視鏡外科学会, 日本腹部救急医学会)
- 小児外科専門医 (日本小児外科学会)
- 心臓血管外科専門医 (日本胸部外科学会, 日本心臓血管外科学会, 日本血管外科学会)
- 内分泌・甲状腺外科専門医 (日本内分泌外科学会)
- 乳腺専門医 (日本乳癌学会)

図 1-1 National Clinical Databaseの概要



本事業の経費

本事業は日本外科学会および日本消化器外科学会などの各種臨床学会からの基金によって運営されます。その管理・運営はNCDがおこないます。

対象となる手術・治療と登録するデータ

平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

現在登録対象となっている専門医制度（2010年9月1日現在）

- 外科専門医（日本外科学会） 以下50音順
- 呼吸器外科専門医（日本胸部外科学会，日本呼吸器外科学会）
- 消化器外科専門医（消化器外科領域については，以下の学会が「消化器外科データベース関連学会協議会」を組織して，NCDと連携する：
日本消化器外科学会，日本肝胆膵外科学会，日本食道学会，日本胃癌学会，大腸癌研究会，日本肝癌研究会，日本膵臓学会，日本内視鏡外科学会，日本腹部救急医学会）
- 小児外科専門医（日本小児外科学会）
- 心臓血管外科専門医（日本胸部外科学会，日本心臓血管外科学会，日本血管外科学会）
- 内分泌・甲状腺外科専門医（日本内分泌外科学会）
- 乳腺専門医（日本乳癌学会）

なお，今後，他の専門医制度や臨床研究が登録対象となる可能性がございます。

登録対象のデータ

登録対象となるのは，各種の専門医制度に関係する，日本でおこなわれた手術・治療です。診療科単位で登録をおこない，その内容には診療科長が責任を負います。2011年1月1日以降におこなわれた手術・治療から登録がはじまります。日本全国の施設のうち，およそ2000～3000施設が対象となり【図2-1参照】，年間およそ100万件の登録が見込まれています。

図2-1 本事業の対象施設

対象は日本全国で手術・治療を行っている施設



登録される情報は以下のようにわけられます【図2-2参照】。

1) すべての手術・治療について登録する基本項目（13項目前後，統計的調査）

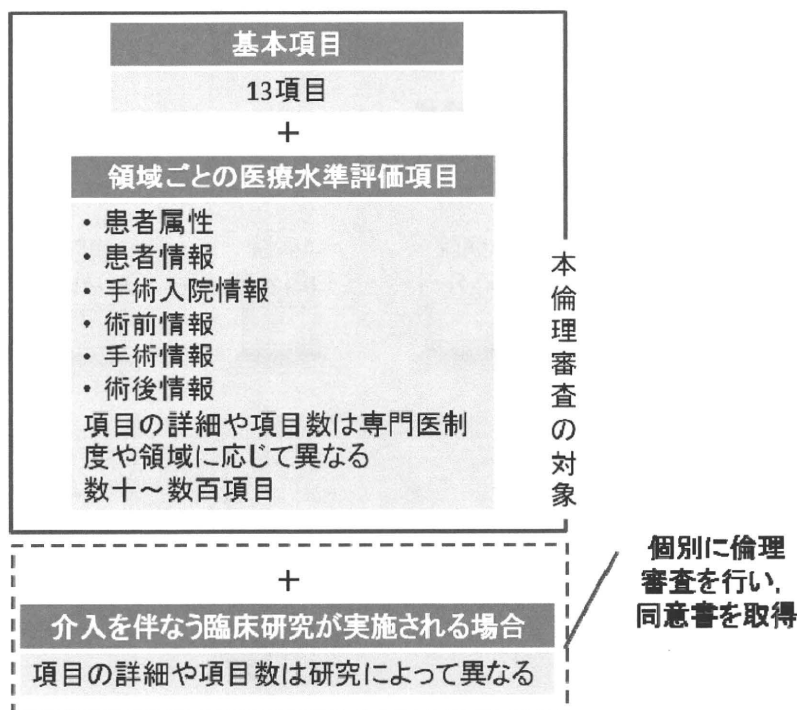
【資料2-1参照】

2) 手術・治療ごとに異なる詳細な項目（医療評価調査）

1) の基本項目よりも詳しい患者さんの情報，手術入院情報，術後情報などが入力されます。項目の詳細や項目数は専門医制度や領域に応じて異なります。数十項目から数百項目の登録が予定されています。具体例として最も調査項目の多い心臓外科領域の調査用紙を添付します【資料2-2参照】。

なお，本事業のシステムを利用して，検査が加えられたり，投薬が加えられたりするような，診療に何らかの影響を与える研究（以下，「介入をともなう研究」）がおこなわれる場合，調査項目が加えられることがあります。加えられる項目や参加する施設は各研究の計画によって異なります。この場合，研究ごとに倫理審査等を行ない，加えられる項目が適切であるか否かを判断します。

図2-2 収集するデータの概要



データの登録方法

平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

データの入力方法

日本全国の参加施設診療科からインターネットを介して中央の組織にデータを集めます【図3-1参照】。データ入力のためのウェブサイトを開設し、参加施設診療科ごとに選ばれ、NCDによる認証を受けたNCDアクセスメンバー（診療科長、NCD主任外科医、データマネージャー）が手術・治療の情報を入力します【図3-2、図3-3、図3-4参照】。診療科長の方には入力を担当するNCD主任外科医となる医師を選出していただきます。また、医師以外のスタッフの方を「データマネージャー」として任命していただき、入力を担当していただくことも可能です【詳細は資料4参照】。データ入力方法に関する講習はe-learningによって行う予定です。

2011年1月1日に入力が開始された後も、定期的に項目の修正やシステムの修正を行っていく予定です。入力項目やシステムの不具合等があった場合の問い合わせ先については、後日ご連絡させていただきます。

図3-1 本事業におけるデータの登録方法

日本全国の参加施設診療科

NCDの認証を受けたスタッフが手術症例を登録

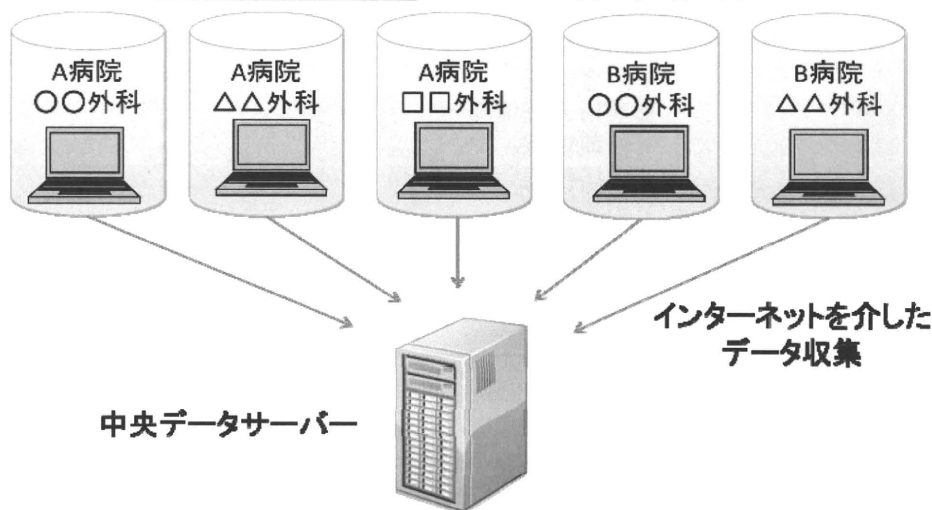
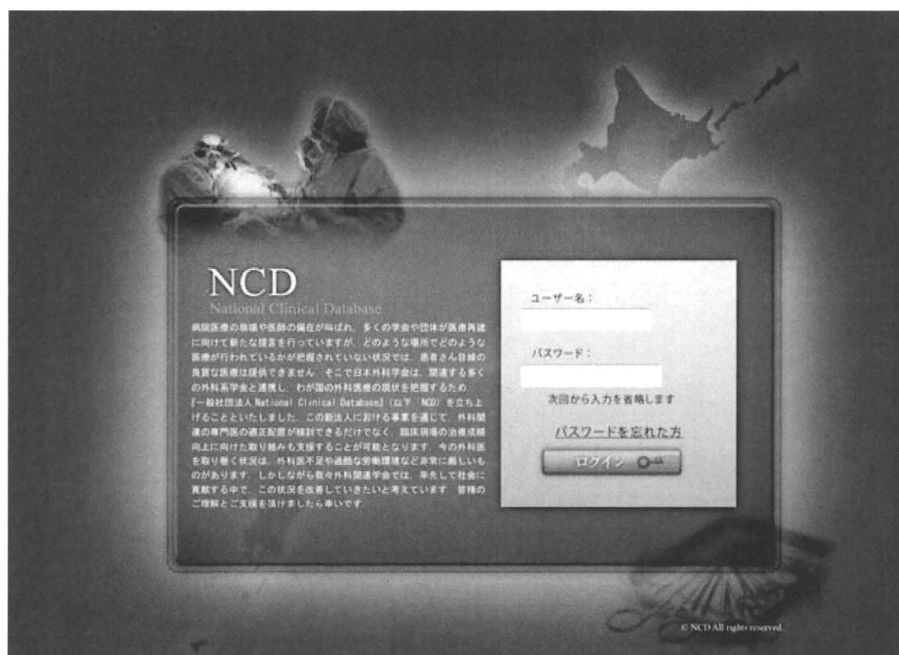


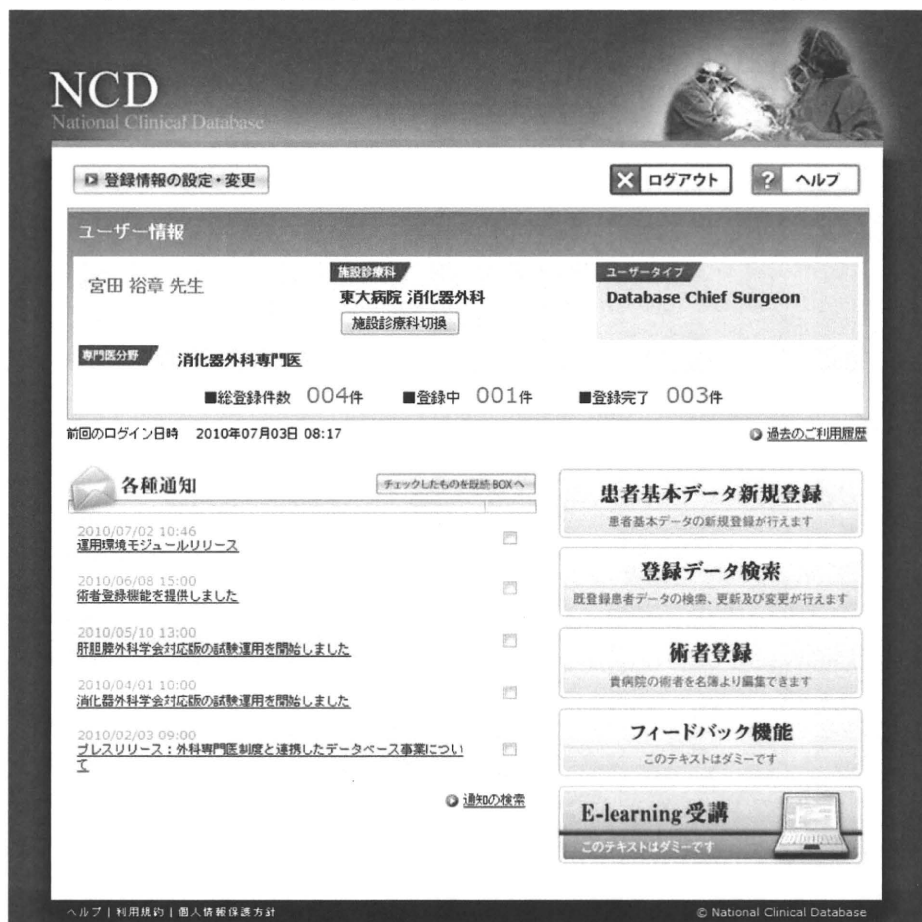
図 3-2 症例登録を行うウェブサイトのログイン画面



固有の ID、パスワードを使用してログインする

現在テスト入力段階であり、仕様は変更される可能性があります

図 3-3 症例登録を行うウェブサイトのメニュー画面



現在テスト入力段階であり、仕様は変更される可能性があります

図 3 - 4 実際の症例登録画面

ユーザー情報 ログアウト メニューへ戻る
宮田 裕章 先生
(東大病院 消化器外科)

院内管理コード
200001

患者生年月日
2001年01月01日

患者性別
男性

表示制御

基本項目以外を隠す

全表示

保存

保存

ステータス変更

編集>登録中

登録中>承認済

取消(>編集)

ステータス:編集

入力率

共通項目

手術1回目: 66.7% (6/9)

術前: 75.0% (6/8)

術中: 0.0% (0/1)

消化器外科

手術1回目: 31.3% (5/16)

術前: 66.7% (2/3)

術中: 0.0% (0/8)

術後: 60.0% (3/5)

肝胆膵外科

患者情報

入力する

院内管理コード: 200001

患者姓名イニシャル
(Last Name,First Name) h , m 例:山田 太郎(Yamada Taro) Y, T

患者生年月日: 西暦 2001 年 01 月 01 日

患者性別: 男性 女性

clear

国籍: 日本人 その他

ここまでの入力を保存する

手術入院

新規入院を追加する

1回目

入力する

現在テスト入力段階であり、仕様は変更される可能性があります

NCD アクセスメンバーの選任方法

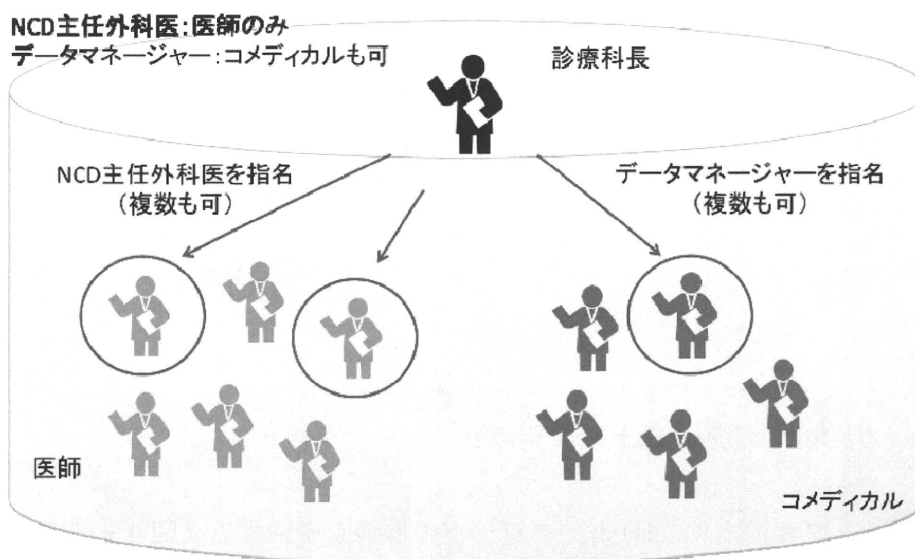
平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

NCD アクセスメンバー

NCD アクセスメンバーは NCD の承認を受けた、各参加施設診療科のスタッフです。まず、参加施設診療科の診療科長の方に認証を受けていただきます。次に、診療科の医師の中から NCD 主任外科医を選出していただき、認証を受けていただきます。さらに、医師もしくは医師以外のスタッフの中からデータマネージャーを選出していただくことが可能です【図 4-1 参照】。

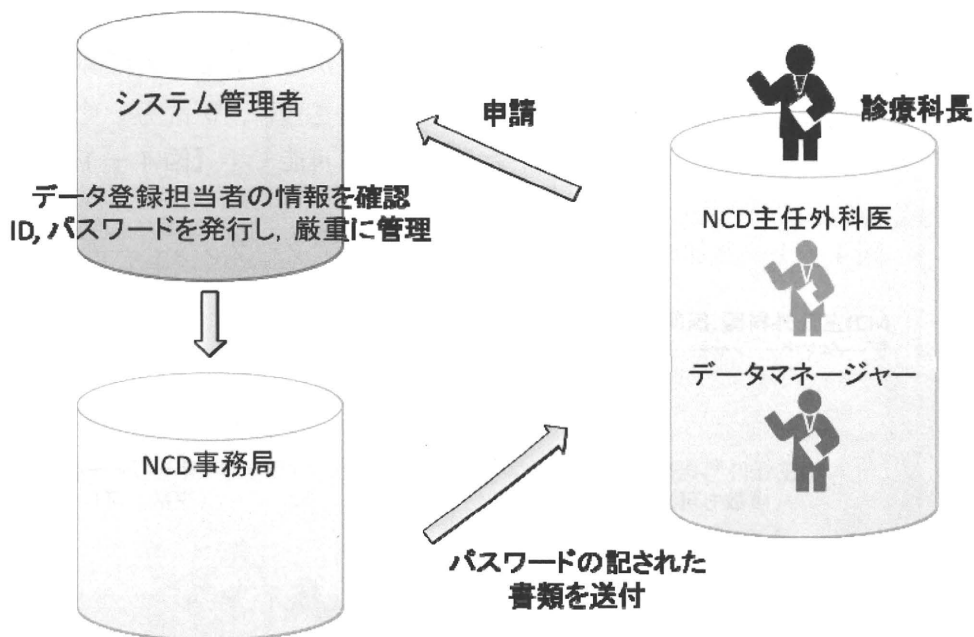
図 4-1 参加施設診療科における NCD アクセスメンバーの選任



NCDによる認証を受ける方法

参加施設診療科のスタッフの皆様がNCDアクセスメンバーとなるためには、図4-2のような流れでNCDによる認証を受けていただく必要があります。診療科長の方にシステム管理者へ認証申請をしていただいた後に、ID、パスワードを発行致します。


図4-2 NCDアクセスメンバーがNCDによる認証を受ける方法



認証申請の具体的な手順は以下の通りです。

- 1) 認証用ウェブサイトで、ID とパスワードの取得を申請する【図4-3参照】。
※この申請の際、簡単なアンケートに答えていただく必要があります。
- 2) 送られてきたID とパスワードを用いて、認証用ウェブサイト【図4-4, 4-5参照】にログインし、NCD 主任外科医、データマネージャーを登録する

図4-3 認証用ウェブサイトのID・パスワード申請画面



利用開始アンケート

個人情報		所属施設情報	
	姓	名	
氏名	漢字 ※		
	カナ ※		
	英字		
生年月日 ※		年 月 日	
メールアドレス		主たる所属施設の選択	
UMIN-IDの保有状況 ※		施設名 ※	
パスワードの再発行 ※		診療科名 ※	
医籍情報 ※		職位	
専門医分野		▼ ※	
		▼	
		▼	
		▼	
		▼	

National Clinical Databaseの利用に際し、UMINへの登録に同意します ※

※ は必須項目です

現在テスト入力段階であり、仕様は変更される可能性があります

図4-4 認証用ウェブサイトのログイン画面



利用者・診療科管理

UMIN-ID _____

パスワード _____

現在テスト入力段階であり、仕様は変更される可能性があります

図4-5 NCD 主任外科医，データマネージャーの登録画面

現在テスト入力段階であり，仕様は変更される可能性があります

NCD アクセスメンバーの権限の違い

診療科長と NCD 主任外科医，データマネージャーの権限の違いは以下の通りです【表4-1参照】。なお，NCD 主任外科医，データマネージャーは各診療科から複数名ずつ選出していただくことが可能です。

表4-1 NCD アクセスメンバーの権限の違い

	診療科長	NCD 主任外科医	データマネージャー
NCD による承認	必要	必要	必要
参加施設診療科毎の人数	1名	0名～複数名	0名～複数名
データ登録	可	可	可
診療科長の変更	可	不可	不可
NCD 主任外科医の変更	可	可	不可
データマネージャーの変更	可	可	不可

本事業における倫理的配慮

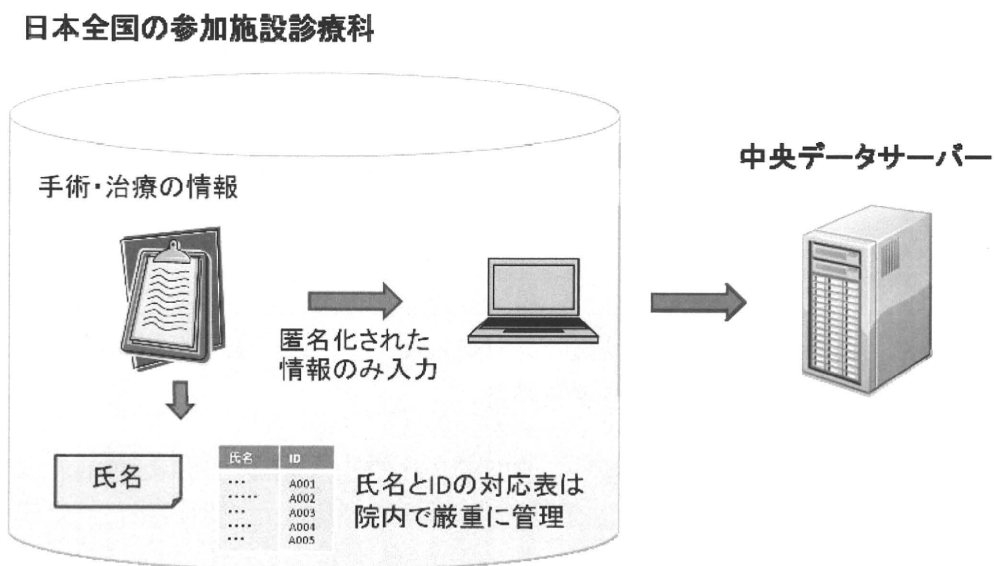
平成 22 年 9 月

一般社団法人 National Clinical Database

個人情報の保護

患者さんの情報は、個人を識別することができる情報を除き、その方と関わりのないコードをつけて入力していただきます。患者さんごとに重複がないような任意のコードをお使いください。データベースの運営者や管理者が、入力されたデータから患者さん個人の氏名を知ることはできません（連結可能匿名化）【図5-1参照】。ただし、コードと患者さんの対応表を作ってください、各参加施設診療科で厳重に管理していただきます。これは、手術・治療後一定期間が経ったあとの情報を集めたり、入力された情報に誤りがないかを確認したりする際に、入力された情報と個人の情報を照合しなければならない可能性があるためです。その際に個人情報が流出することがないように、訪問にあたっては、担当者の身分を明らかにして、施設長からの許可を得ます。そして、データの検証に関する情報以外については守秘義務を負い、施設から氏名などの個人情報を持ち出すことがないようにします。

図5-1 本事業におけるデータの匿名化



また、匿名化されたデータであっても、データを閲覧する者によっては、個人が特定できる可能性があります。データベースに集められた情報を閲覧するにあたっては、取扱規約を定め、各種委員会の判断の下で、登録された方に生じる危険と不快に配慮した上で運用します。

同意の取得と参加の拒否について

本事業でデータを集めるために、検査を追加していただいたり、治療を変更していただいたりすることはありません。通常の診療で集められたデータを登録していただきます。また、登録されたデータは各種委員会の承認のもとに活用いたします。したがって、本事業でデータベースに集められる情報に関して患者さん個人に同意をいただく必要はありません*。

ただし、患者さんが個別に参加を拒否することは可能です。参加拒否の意思表示があった場合、その方の情報は本データベース事業に登録しないようお願いいたします。また、患者さんが未成年である場合や、緊急手術が行われた場合など、家族の意向で参加拒否をしていただくことができます。家族から参加拒否の意思表示があった場合も、その患者さんの情報は本データベース事業に登録しないようお願いいたします。以上の内容は、NCDのウェブサイトにて示すとともに、各施設のウェブサイトや施設の掲示板などを用いて告示していただきます (<http://www.ncd.or.jp>) 【資料5-1参照】。

なお、本事業のシステムを利用して介入をともなう研究を行う場合は、個別に説明をおこない、同意を取得していただきます。また、研究ごとに倫理審査を受けることをシステム利用の必須条件とします。

※文部科学省、厚生労働省が発表している「疫学研究に関する倫理指針」に準じています。

患者さんに生じる危険

本事業でデータを集めることで診療内容自体を変えていただくことはありません。したがって、各施設診療科が本事業に参加し、データの登録をおこなうことで新たに患者さんに危険が生じることはありません。

ただし、本事業のシステムを利用して介入をともなう研究を行う場合、患者さんに何らかの危険が生じる可能性があります。こうした研究において生じる危険に関してはそれぞれの研究計画に合わせて適切に対応します。また、研究ごとに倫理審査を受けることをシステム利用の必須条件とします。

データの活用・公表方法

本事業に収集されたデータは、各種委員会が討議した上で、次のような形で活用されます。

- 手術を行っている施設診療科の特徴の調査
- 医療水準の評価
- 適正な外科専門医の配置の検討
- 手術を受けた方の予後の調査
- これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性の調査、など

本事業で集められたデータの分析結果は、専門誌や学術集会、ウェブサイト等で発表されます。また、参加施設診療科は自診療科の手術・治療成績が全国の施設とくらべてどのようなものであるかを知ることができます。データが発表されたり、各診療科に伝えられたりする際は、集計された数値や分析された結果としてのみ公表されるため、患者さん個人の氏名が特定されることはありません。

倫理審査の実施

NCD は、定期的に倫理委員会の審査を受け、事業の法的妥当性・倫理的妥当性を継続的に検証していきます。また、本事業は連結可能匿名化された情報を登録していただく観察研究であり、これまでの審査結果に基づき、施設長の判断で各参加施設での倫理委員会の開催を省略することが可能です。なお、本事業のシステムを利用して介入をとまなう研究を行う場合は、研究プロジェクトごとに倫理審査を受けることを必須条件とします。

これまでの倫理審査（2010年9月1日現在）

2010年5月6日

NCDの事業全体について、東京大学医学系研究科倫理委員会で委員長見解による承認を得た【資料5-2参照】。

2010年7月26日

東京大学医学部附属病院における個人情報の取り扱いについて、東京大学医学系研究科倫理委員会で承認を得た【資料5-3参照】。

2010年9月1日

NCDの事業における患者個人情報の取り扱いについて、日本外科学会拡大倫理委員会にて審議を予定【資料5-4参照】。

患者さんへ

専門医制度と連携したデータベース事業について

病院医療の崩壊や医師の偏在が叫ばれ、多くの学会や団体が医療再建に向けて新たな提言を行っていますが、どのような場所でどのような医療が行われているかが把握されていない状況では、患者さん目線の良質な医療は提供できません。そこで日本では、関連する多くの臨床学会が連携し、わが国の医療の現状を把握するため、『一般社団法人National Clinical Database』（以下、NCD）を立ち上げ、データベース事業を開始することになりました。この法人における事業を通じて、患者さんにより適切な医療を提供するための専門医の適正配置が検討できるだけでなく、最善の医療を提供するための各臨床現場の取り組みを支援することが可能となります。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 National Clinical Database 代表理事
里見 進

1. 本事業への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

2. データ登録の目的

患者さんに向けたより良い医療を提供する上では、医療の現状を把握することは重要です。NCDでは、体系的に登録された情報に基づいて、医療の質改善に向けた検討を継続的に行います。NCD参加施設は、日本全国の標準的成績と対比をする中で自施設の特徴と課題を把握し、それぞれが改善に向けた取り組みを行います。国内外の多くの事例では、このような臨床現場主導の改善活動を支援することにより、質の向上に大きな成果を上げています。

3. 登録される情報の内容

登録される情報は日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等となります。これらの情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関する重要な情報ですので厳重に管理いたします。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報保護法」、「疫学研究の倫理指針」、「臨床研究の倫理指針」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等）を遵守しています。登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、受診された診療科にお問い合わせ下さい。

4. 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆さまの健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形で、NCD がデータを公表することは一切ありません。情報の公開にあたっては、NCD内の委員会ですべて十分議論し、そこで承認を受けた情報のみが公開の対象となります。

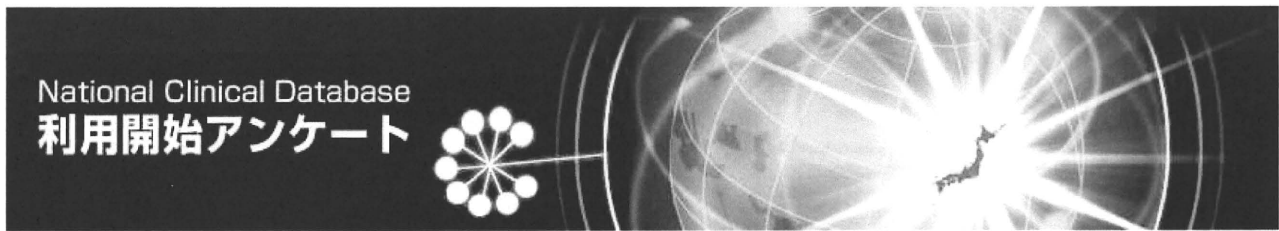
お問い合わせについては受診された診療科またはNCD事務局までご連絡下さい。



National Clinical Database 事務局

URL: <http://www.ncd.or.jp/>

（お問い合わせはホームページ内のフォームからお願いいたします。）



診療科長登録用

個人情報	
漢字 ※	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
氏名 カナ ※	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
英字	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
生年月日 ※	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="button" value="📅"/>
メールアドレス ※	<input type="text"/>
UMIN-IDの保有状況 ※	<input type="radio"/> 未保有 <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 保有
医籍情報 ※	<input type="radio"/> 医師 <input type="radio"/> その他
専門分野	<input type="text"/> ※
	<input type="text"/>
	<input type="text"/>
	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

所属施設情報	
<input type="button" value="主たる所属施設の選択"/>	
施設名 ※	
診療科名 ※	
職位	<input type="text"/>

National Clinical Databaseの利用に際し、UMINへの登録に同意します ※

※は必須項目です

ご記入いただいた情報はNCDの利用者登録、関連する諸連絡のために使用致します

NCD (National Clinical Database)

診療科長による診療科登録の手引き

この手続きに必要なもの

以下をお手元にご用意ください……

- ◆ NCDから送信された「診療科長による診療科の登録案内」メール
- ◆ 本人確認用書類のコピー（運転免許証、パスポート、健康保険証、公的医療機関の身分証等）
- ◆ （お持ちの場合）UMIN-ID

診療科長登録に関するFAQはこちらから
URL <http://www.ncd.or.jp/faq.html>

目次

- はじめに : 1ページ
- 診療科長による診療科登録フロー : 2ページ
- 診療科長の皆さまへ : 3ページ
- 診療科長による診療科の登録 : 4～5ページ
- UMIN*-ID, 医籍情報の入力の仕方 : 6ページ
- 専門分野の入力の仕方 : 7ページ
- 所属施設情報の入力の仕方 : 8～9ページ
- 申請書について : 10～12ページ
- よくあるご質問 (FAQ) : 13ページ
- お問い合わせ : 14ページ

*「大学病院医療情報ネットワーク」の略

はじめに

この手続きは...

- ◆ NCDの症例登録に必須です.
- ◆ 診療科単位で行います.
- ◆ 第三者が診療科情報の閲覧やデータ修正しないよう、ウェブサイトで申請を行った後、申請書を本人確認書類のコピーとともにNCD事務局にお送りいただく形式になっています.

申請書の送付をよろしくお願ひいたします.